

豊かさの問い直しと地球環境の時代

1989年末に日経平均株価が最高値をつけたあと、株価は下落していき、90年はバブル経済崩壊の年となりました。不動産や株式などで手にした利益は価値を下げ、また全国で行われた乱開発で自然や景観が失われるといったことへの反省から、本当の豊かさとはなにか？という問いかけが徐々に社会全体でなされるようになりました。そして、バブル期に企業が海外の進出先で学んだ「企業の社会貢献」に対する認識が少しずつ国内でも浸透しはじめたり、折しも92年のブラジル・リオデジャネイロでの「国連環境開発会議」（地球サミット）の開催を迎えようとしていたことから、国内外を問わず、環境と開発のあるべき姿や持続可能性の問題を考える意識・機運が大きな高まりを見せたこともあって、あらたな時代の市民社会の到来を予感した時代でもありました。

しかし実態をとまなわない経済・消費活動の代償は重たく、ゴルフ会員券など高額な商品・サービスの契約・解約をめぐるトラブルはあいつぎ、弁護士会では研究会や提言が行われていきます。学校における消費者教育もスタートしました。全国消団連では、製品安全の問題の制度的な解決をもとめて、製造物責任法（PL法）の制定にむけて活動を本格化させます。

| 全国消団連のあゆみ | 社会の動き |
|---|--|
| <p>6月 PL法制定で各党要請行動。その後、毎月の要請行動が実施される</p> | <p>1990</p> <p>1月 バブル経済崩壊 3月 ゴルバチョフ、ソ連初の大統領に。東欧型社会主義体制崩壊</p> |
| <p>2月 PL連絡会結成打ち合わせ会議 5月 消費者のための製造物責任法の制定を求める全国連絡会（略称・PL法消費者全国連絡会）発足 7月 PL連絡会・団体署名第1次集約分提出 9月 消費者のための製造物責任法制定を！9.25消費者のつどい</p> | <p>1991</p> <p>1月 多国籍軍、イラクを空爆 10月 国民生活審議会がPL法中間報告に関する見解発表 12月 欧州同盟(EU)発足／ロシア連邦発足</p> |
| <p>1月 欠陥商品110番(34地域、1044件) 3月 今こそ製造物責任法の制定を！3.14消費者集会 6月 国連・環境と開発会議報告会 8月 消費者のための製造物責任法の制定を求める8.26全国代表者会議 9月 PL法制定要請行動 11月 PL法制定要求集会・国会要請行動</p> | <p>1992</p> <p>4月 学校における消費者教育の本格実施 6月 環境と開発に関する国連会議(地球サミット開催)「環境と開発に関するリオ宣言」「アジェンダ21」を採択</p> |

青年組織リーダーとして消費者大会参加の経験から

COLUMN

消費者大会に参加して消費者と交流するなかで私自身変わったことがあります。

各方面の方々の様々な角度からの講演を聴く中で、グループ活動を通して今の消費者が、生産者である私たちに対して「何を求めているのか」「何に疑問をもっているのか」改めて考えさせられました。そして交流のなかで、時には一農業者として、時には青年組織のリーダーとして、ひとつひとつの言葉を聞き、話し、そして誤解を解き、互いの理解を深め合うことができたのです。それまでは「消費者との交流」といっても、農業者サイドからの一方通行になりがちだったように思います。

今、農業のあり方も大きく変わってきています。消費者ニーズも多様になりました。農業者もただ作るだけでなく、管理方法を公開したり、努力を目に見える形で消費者の理解を得なければならない時代になりました。2006年度私は、JA全青協理事として地域振興部会の部長を務めることになりましたが、食農教育を通じて、都市農業の大切さを語りかけていくとともに、消費者大会参加の経験を活かしながら都市住民のいろいろな意見を聞きたいと考えております。



埼玉県農協青年部協議会 委員長 関口 眞一

用語解説

PL法（製造物責任法）

PL法（Product Liability Law）とは、製品の欠陥によって生命、身体又は財産に損害を被ったことを証明した場合に、被害者は製造会社などに対して損害賠償を求めることができる法律。製造業者等が、自ら製造、加工、輸入又は一定の表示をし、引き渡した製造物の欠陥により他人の生命、身体又は財産を侵害したときは、過失の有無にかかわらず、これによって生じた損害を賠償する責任があることを定めている。



●地球サミット(ブラジル)でのグローバル・フォーラム(消費者・市民の会議と集会)1992.6